

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス上田教室		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 3日		2025年 3月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 45
○従業者評価実施期間	2025年 3月 3日		2025年 3月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫している。	季節に応じた行事や親子イベントを積極的に行なっています。お子さんのニーズや要望に合わせて活動を決めています。	様々な活動を行なっているのが強みではありますが、お子さんたちにとってはスケジュールがイレギュラーなものになるため、説明を工夫する必要があります。個々に応じた視覚的なスケジュールを用いたり、必要に応じてスケジュールの確認を全体で行うよう工夫していきま
2	こどものことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられている。	お子さんの発達段階に応じて、感覚統合プログラムや運動療育を行なっています。	職員の支援の方向性を統一するために振り返りを継続的に行うように意識していきます。必要に応じて支援方法を更新していくことで、さらに職員のスキルを向上できるように努めてまいります。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。	保護者会の機会を設けて、保護者様同士が意見交換できるような交流の場に行なっています。	さらに保護者様やご家族の方が参加できるような研修の情報提供、きょうだい同士が交流できるような機会を検討してまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	2階のプレイルームへ向かう階段が急であり、現状は階段の昇降の際は職員が付き添い・階段に滑り止めを設置する等の対策を取っています。	事業所の移転や設備の見直しを検討していきます。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	定期的には地域のこどもたちと交流する機会は設けていないのが現状です。ただ、公共の施設や公園等に積極的に出かけ、そこで出会ったこどもたちと交流する機会はあります。	地域の児童クラブや地域のこどもたちとの交流の場が設けられるか今後検討していきます。
3	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	家族も参加できるようなペアレントトレーニングや研修会は現状、事業所では定期的には行っておりません。地域の参加できる研修会があれば周知を行なっています。また、保護者会を開催して交流できる機会を作っております。	事業所主催の保護者様向けの研修会やペアレントトレーニングの機会を設けられるか今後検討していきます。